

自転車安全利用五則

自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置づけられています。

したがって、歩道と車道の区別のあるところは車道通行が原則です。



罰則 3 ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

普通自転車が歩道を通行することができる場合

歩道に「普通自転車歩道通行可」の標識等があるとき。



13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているとき。



道路工事や連続した駐車車両などのために車道の左側部分を通行するのが困難な場所を通行する場合や、

著しく自動車の通行量が多く、かつ、車道の幅が狭いなどのために、

追越しをしようとする自動車などの接触事故の危険性がある場合など、

普通自転車の通行の安全を確保するためにやむを得ないと認められるとき。



自転車道があるところでは、道路工事などやむを得ない場合を除き、自転車道を通行しなければなりません。

罰則 2万円以下の罰金又は科料

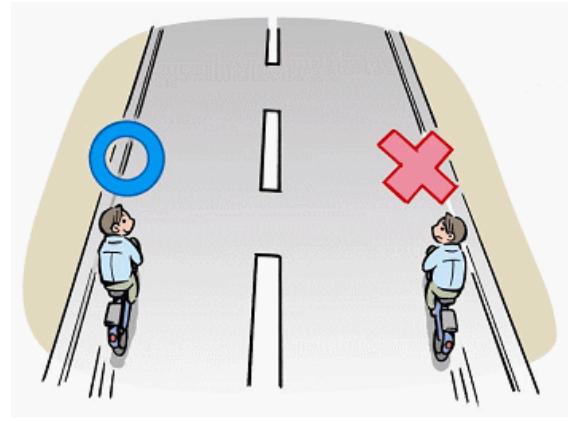
車道は左側を通行

自転車が車道を通行するときは、自動車と同じ左側通行です。

道路の中央から左側部分の左端に寄って通行してください。

一方通行道路で「自転車を除く」の補助標識があり、

自転車の規制が除外となっている場合に通行（逆行）する場合も同じです。



罰則 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

路側帯を通行できる場合

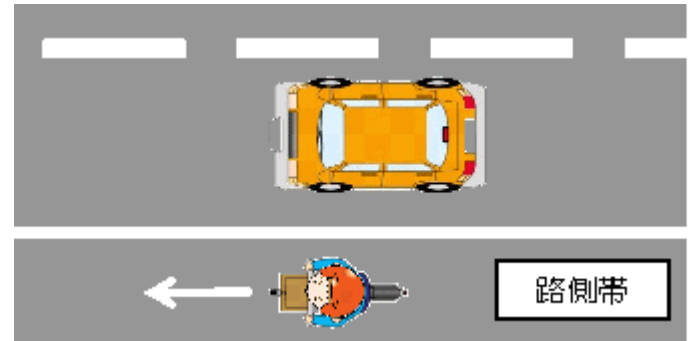
自転車は、歩行者の通行に大きな妨げとなる場合や

白の二本線の標示（歩行者専用路側帯）のある場合を除き、

路側帯を通ることができます。

ただし、左側部分に設けられた路側帯を通行して下さい。

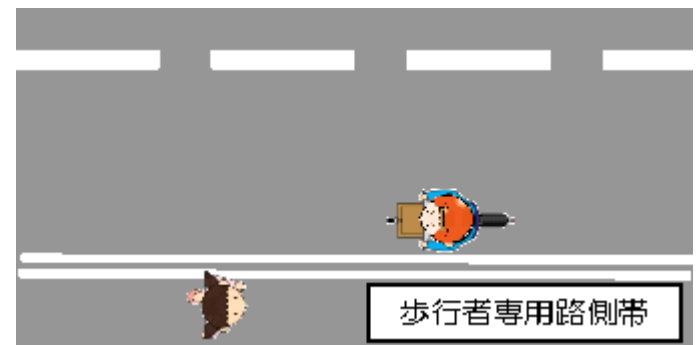
その場合は、歩行者の通行を妨げないような速度と方法で進行しなければなりません。



平成25年6月14日公布、12月1日に施行の「改正道路交通法」

により、「自転車等軽車両が通行できる路側帯は道路の左側部分に

設けられた路側帯」に限定されました。

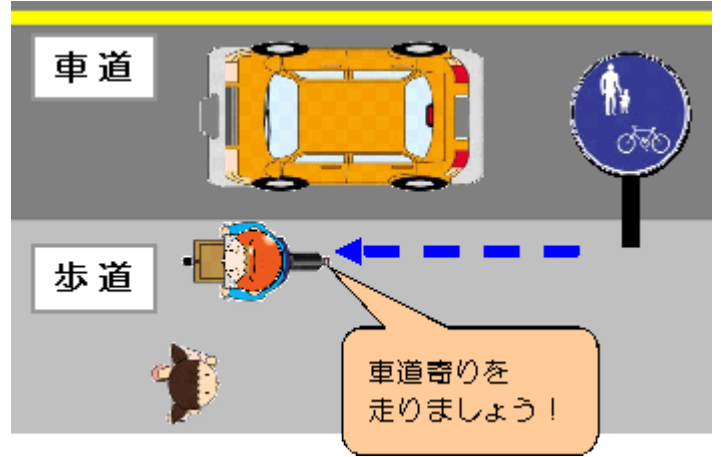


罰則 3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

自転車が歩道を通行する場合は、車道寄りの部分を行しなければなりません。歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止しなければなりません。

罰則 2万円以下の罰金又は科料

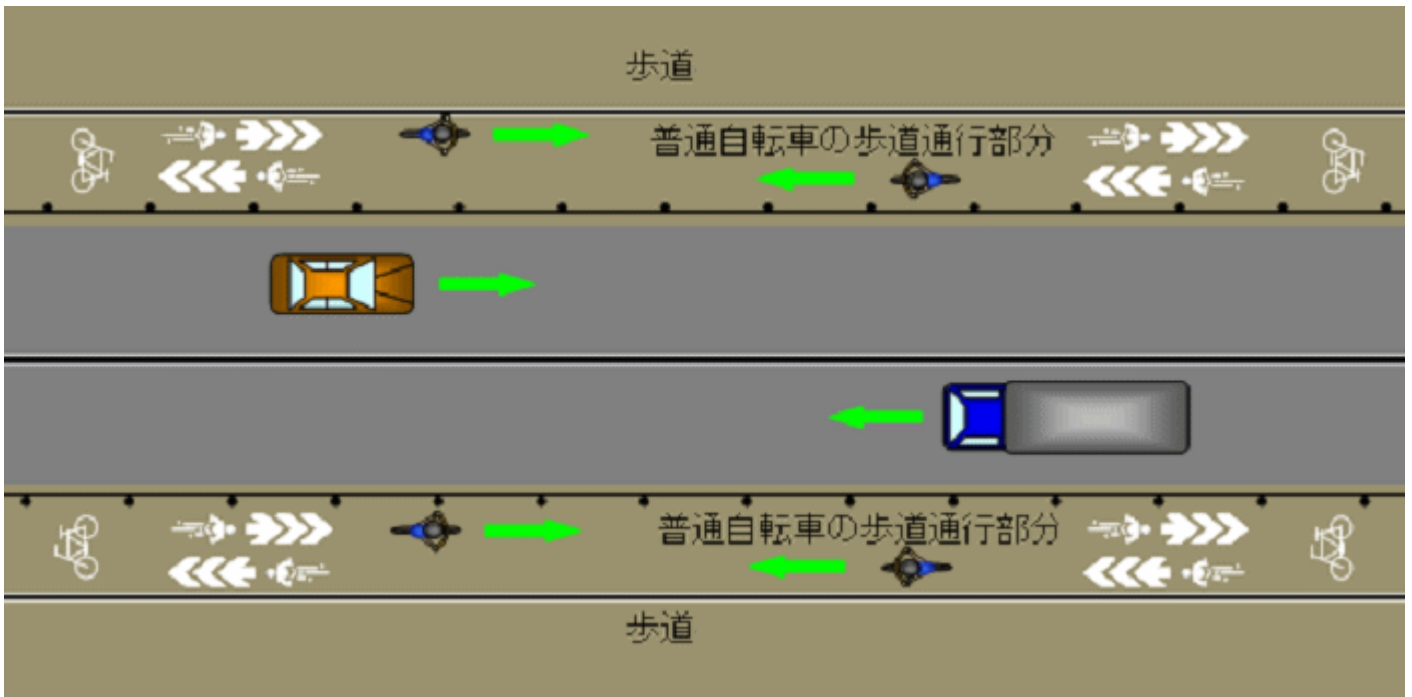


自転車が歩道を通行する場合は、車道寄りの部分を徐行しなければなりません。

歩道では自転車同士による相互通行することが可能です。

その際、歩行者の動向に注意することはもちろん、すれ違う自転車に危険を感じる場合は、

自転車を降りて、自転車を押して歩きましょう。



安全ルールを守る

飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

罰則

・飲酒運転

5年以下の懲役又は100万円以下の罰金（酒酔いの場合）

・二人乗り

2万円以下の罰金又は科料

・並進

2万円以下の罰金又は科料



夜間はライトを点灯

罰則

・無灯火

5万円以下の罰金



交差点での信号遵守と一時停止

交差点における信号無視や一時停止標識のある場所での一時不停止は、交通違反です。

交差点では必ず信号を守り、周囲の安全を確認してから進行しましょう



一時停止の標識は、
歩行者、自転車、車
全ての人が一時的停止をし、
安全確認をしなければなりません。



青信号でも必ず安全確認をしましょう。

子どもはヘルメットを着用

自転車を運転する児童の保護者は、児童にヘルメットを着用させるよう努めなければなりません。

成長過程の子どもは体の重心位置も不安定で、転倒した時、頭部に重大なダメージを受けることがあります。

子ども自身が自転車に乗るときはもちろん、幼児を幼児用シートに乗せるときも、幼児用ヘルメットの着用をお願いします。



自転車はルールを守って正しく乗りましょう

平成27年6月1日から道路交通法が一部改正されました。

悪質・危険な自転車運転者に対する講習会制度です！

違反を繰り返す自転車運転者に安全講習を義務付け危険違反行為を繰り返し行った自転車運転者に対し、

危険防止のための講習の受講を命じる制度が6月1日より新設されました。

信号無視や酒酔い運転、一時不停止などの14の特定の「危険行為」を過去3年以内に2回以上(交通切符交付又は交通事故)

繰り返した14歳以上の運転者に「自転車運転者講習」の受講が命じられます。

自転車乗用中に14類型で、3年以内に違反切符による取締まり又は交通事故を2回以上繰り返して行った場合



公安委員会の受講命令

3か月の指定された期間内



自転車運転者講習を受講 受講時間3時間 受講手数料5,700円

受講命令に従わなかった場合



5万円以下の罰金

- 1、信号無視
- 2、通行禁止違反
- 3、歩行者用道路における車両の義務違反（徐行違反）



- 4、通行区分違反
- 5、路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 6、遮断踏切立入り

- 7、交差点安全進行義務違反等
- 8、交差点優先車妨害等
- 9、環状交差点安全進行義務違反等



- 10、指定場所一時不停止等
- 11、歩道通行時の通行方法違反
- 12、制動装置（ブレーキ）不良自転車運転
- 13、酒酔い運転
- 14、安全運転義務違反（傘さし運転、携帯電話の操作をしながらの運転、自転車運転中のイヤホン使用）

